

## 平成24年度大学コンソーシアムとちぎ 学生活動支援事業 報告書

機関名	宇都宮大学
団体等名	TSALL
学生代表者氏名 (所属・学年)	高宮 達郎 (宇都宮大学農学部・1年)
責任教職員氏名	藤井佐知子 宇都宮大学教育学部教授

1. 事業名	第8回 緑を育てるための学生交流会
2. 実施時期	平成24年12月8日 (土)
3. 実施場所	宇都宮大学 峰キャンパス 峰ヶ丘講堂
4. 事業の内容等	<p>宇都宮大学峰キャンパスの峰ヶ丘講堂にて、第8回 緑を育てるための学生交流会を開催いたしました。</p> <p>第1部の「学生による、復興ビジネスコンテスト」では宇都宮大学の学生だけではなく他大学の学生も、参加し被災地の復興のためそれぞれのビジネスプランを競い合いました。文部科学省や福島県大熊町の町長にも審査に協力していただき、学生なりのビジネスプランを集めることが出来ました。</p> <p>第2部の「環境に関する講演」では、NHK宇都宮放送局局長 北出幸一様をはじめ、社団法人栃木県造園建設業協会会長 高梨道太郎様、NPO法人足尾に緑を育てる会理事 石川栄介様をお招きして、環境に関する講演をしていただきました。次代を担う私たち学生に向け熱いメッセージをいただきました。</p> <p>第3部の「親睦会」では、全国から集まった学生が、大学を、県を超えて交流することができました。</p>
5. 事業の成果と今後の課題	<p>栃木県内19高等教育機関の学生を対象として、周知活動を行いました。県内からは宇都宮大学をはじめ、自治医科大学、獨協医科大学、作新学院大学、白鷗大学、県外からは、埼玉大学や茨城大学、福島大学、千葉大学、早稲田大学、東京大学といった全国各地の大学生116数名が参加し、環境問題に対しての意見交換をすることができました。</p> <p>環境問題に関心をもつ学生の輪を広げることを目的とした本事業ですが、年々参加者の数が増加しております。今年度は昨年の大震災を受け、第3部の最後にわたしたちの作成した環境問題に関する動画を流しながら、参加者全員で故マイケルジャクソン氏の「We Are The World」の合唱をしていただきました。会場全体が一つになり、一つになることの大切やそれが大きな力になることを実感することができたと思います。</p> <p>今後もより多くの学生が環境問題に関心を持ってもらえるように活動を継続し大きな事業にしていきたいと考えております。</p>

(注) 1. 記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。

2. 事業内容がわかるような資料や写真などがあれば添付してください。

報告書(添付書類を含む)はA4判5枚以内にまとめてください。

3. この報告書は、各関係機関等に公表するとともに、大学コンソーシアムとちぎのホームページへの掲載を考えております。また、次年度以降の学生活動支援事業に役立てていきたいと思っております。